

## パン作りに心をこめて

私の将来の夢はパン屋さんです。きっかけは、姉が家でパンを作っていたのを見たからです。最初は何を作っているのかわかりませんでしたが、だんだん形になり、お店にあるようなパンが出来上がりました。そのパンを食べてみると、もちもちしてとてもおいしく、もっと食べたくまりました。



しばた あいり  
柴田 愛梨  
平成21年9月生  
前田小5年

私はそのとき、あまり元気がなくてしゅんとしていました。パンのおかげでとても元気になりました。きっと、姉が心をこめて作ってくれたからだだと思います。私もこんなパンが作れたらいいなと思いました。私もそのあとパンを作ってみたけれど、姉が作ったようなパンはできませんでした。でも、心をこめて作ればおいしくなると思います。

これからパン作りを練習して、食べてくれた人が元気いっぱいになって勇気がわいてくるようなパンを作りたいです。

## プロ野球選手を夢見て

僕の将来の夢は、プロ野球選手になることです。なりたいたと思ったきっかけは、小さい頃にテレビでプロ野球を見たことでした。巨人の菅野選手のスゴいプレーを見て、ぼくもこうなりたいたと思って胸がドキドキしました。



こばやし そうき  
小林 颯希  
平成21年5月生  
米内沢小5年

3年生になったとき、お父さんに野球のスポ少の練習を見に連れて行ってもらいました。ボールを投げたり、打ったりしているのを見て、一緒にやりたいと思ったので、すぐに入部しました。しかし、野球の練習は想像よりも辛く何度もくじけそうになりました。でも、夢のために歯を食いしばって頑張りました。そして今、僕はピッチャーになることができました。

来年は、6年生になるので、下級生のお手本になるような態度を身につけ、日本を代表するプロ野球選手を目指して毎日練習したいです。

## スポーツトレーナーになりたい

私の将来の夢は、スポーツトレーナーになることです。スポーツトレーナーは、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートをします。



やまだ るのん  
山田 琉音  
平成21年5月生  
合川小5年

この仕事を知ったのは、私のお兄ちゃんが骨折をしたことがきっかけです。お兄ちゃんは、野球をやっています。だから、走ったり、打ったりして、体をたくさん動かします。骨折が治ってから、足に負担がかかっても元のように思いっきり走ることができるようにリハビリをがんばっていました。それを支えてくれたのが、スポーツトレーナーです。

私は、スポーツトレーナーになって、体のつくりや動かし方を勉強し、スポーツ選手を体の面からサポートしたいと思います。そして、けがからの復帰を目指してリハビリをしている選手たちが活躍して、笑顔になってくれたらうれしいです。

## 夢をかなえるために

私の将来の夢は、医療関係の仕事につくことです。そう思ったきっかけは二つあります。

一つ目は、父が救命救急士だからです。父の姿から、私も人を助ける仕事をしたいと思っていました。

二つ目は、私自身の体です。以前、心臓の検査で注意するように言われました。それから毎年一回、病院に行っています。病院では先生がやさしく話してくれます。だから、私も先生のような人になりたいと思っています。学校で下級生がケガをしたのを見かけたら、保健室に連れて行ってあげるようにしています。保健の先生がいない時に絆創膏をとってあげたら「ありがとう」と言ってくれました。とてもうれしかったです。自分がこれまで受けてきたやさしさのお礼の気持ちをこめて、病気やケガの人をやさしく助けられる人になりたいです。



こんどう みお  
近藤 美緒  
平成22年1月生  
鷹巣南小5年

## おいしい料理でみんなを笑顔に

僕は、大人になったら、人のために料理を作りたいなと思っています。まだ、将来の夢として決まっているわけではありませんが、みんなにおいしいと言ってもらえたらとてもうれしいだろうなあと、思うからです。



まつはしきょうすけ  
松橋 恭介  
平成22年3月生  
大阿仁小5年

そのことを強く思ったきっかけは、今年になってから、時々お母さんの料理の手伝いを始めたことです。今まで、みそ汁や親子丼などを作りました。少ししか手伝っていないけれど、自分が少し手がけただけでも、その料理を食べた時はとてもおいしく感じました。

また、自分でがんばったことに充実感があるのは、料理にも当てはまりました。とても新鮮な気持ちでした。だから、もし他の人にもおいしいと言ってもらえたら最高だと思います。僕は、たくさんの人を笑顔にできるようにがんばりたいです。

## 地域を守る消防士に

僕の将来の夢は、消防士になることです。保育園の時に、よく遊んでくれた人が消防士で、とてもかっこよく見えたからです。また、いつも僕達を見守ってくれている地域の人を、助けてあげられる人になりたいからです。



あらかわ はるま  
荒川 遥菜  
平成22年2月生  
阿仁合小5年

消防士は、一刻を争う場面に関わることが沢山あります。そのような時に、命を助けるためには、現場でのチームワークや体力、精神力など様々な力が必要になると思います。これらの力をすぐに付けることは大変です。でも、僕は今、野球を精一杯がんばることが、夢の実現につながっていると感じています。野球に一生懸命に打ち込むことで、心身を磨き、仲間と協力する姿勢を身に付けていきたいです。そして、将来訓練を重ねて、地域の安全を守り、地域の人たちに恩返しができるような立派な消防士になりたいです。

## みんなを笑顔にできる小児科医に

私の夢は、小児科のお医者さんになることです。なりたいたと思ったきっかけは、初めて小児科に行ったときに、とても優しい先生に出会ったことです。その先生は、とてもおもしろくて、みんなから人気がありました。診察が終わった小さい子どもは、みんな笑顔で診察室から出てきます。



くしましゆちか  
九島 朱愛  
平成21年5月生  
米内沢小5年

それを見て、私もこの先生のように、みんなを笑顔にできるお医者さんになりたいと思いました。

私は今、浜辺の歌音楽館の合唱団で歌を歌っています。今年も何度か、たくさんの人の前で歌い、みんなを笑顔にすることができました。そのときは、あの先生に一步近づいたようでとても嬉しかったです。2021年もみんなを笑顔にできるように歌を歌いながら、たくさん勉強をして、いつかみんなを笑顔にできる小児科医になりたいです。

## 強い消防士になりたい

僕の将来の夢は消防士になることです。きっかけは、東日本大震災で消防士が活躍する様子を見たことです。けがをした人を助けたり、逆さまになった車を片付けたりしていました。

消防士は、火事になったとき、何が何でもかけつけて消火してくれます。スキー場や山で

迷子になった人を探し出してくれます。僕のお父さんも消防士としてがんばっています。訓練をして、体をきたえて、人の命を救う消防士は、本当にかっこいいです。僕もそんな仕事がしたいと思っています。

強い消防士になるために今できることは、体と心を鍛えることだと思います。しっかりご飯を食べ、運動して、暑さにも寒さにもたえられる丈夫な体になりたいです。そして、将来はお父さんのように力持ちになって、たくさんの人を救いたいです。



よしだ あつき  
吉田 充輝  
平成21年12月生  
合川小5年